

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

№. 285 2023年1月25日



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 正木茂博

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802



新年のご挨拶

姫路・西播支部長 正木 茂博

明けましておめでとうございます。

昨年はコロナだけでなくロシアのウクライナ侵攻という歴史に残る信じられないことが起こりました。いつ終結するかわかりませんがこの事によって色んな教訓を学びました。独裁的な権威主義国家が暴走するといかに危険なことになるか、言論の自由がいかに大事なことを痛いほど再認識しました。経済評論家の内橋克人さんが社会にとって大事なものは食の確保、ENERGYの確保、それと人間へのCAREだといつも言っておられた事を思い出します。日本の食料自給率は35%前後で多くを海外に依存しています。農業従事者も年々減少しています。耕作放棄地も増え主食のコメも将来生産が減少する可能性があります。漁業も同じ様な状況です。アベノミクスにより金融をジャブジャブにし円安になり一部の企業に大きな利益をもたらしました。米国の利上げにより益々円安になっています。その結果、物価上昇が起きています。

賃金の上昇は低く、国民は徐々に生活しに

くくなっています。ENERGY に関しても再生可能ENERGYを本気で考えていく必要があるのに原発へ回帰しています。日本は自然豊かな国です。官民学が本気で取り組めば解決出来る問題です。

少子化についても、問題は結婚し子供が出来たら今よりも生活が苦しくなるからだと思います。大学まで教育費は無料、医療費も無料にすれば結婚する人も増え子供も増えるでしょう。財源は円安で大きな利益を上げた企業の法人税を上げる。内部留保に課税する。相続税を上げる。今はESG(環境・社会・企業統治の3つの要素)企業が求められる時代です。円安で大きな利益を上げた企業の社会的責任だと思います。

防衛費に関しては専守防衛を守りつつ、今の軍備だけでは防衛不可能なら増額も仕方ないが、国債に頼らないのが原則であくまでも外交を基本にすべきと考えます。ロシアの暴挙を利用して安易に防衛費を増やさないようにCHECKする必要があります。

(次ページにつづく)

（前ページのつづき）

医療の進歩により治療法などが大幅に発展しています。この恩恵を全国民が享受できるように保険診療体制をさらに改善していく必要があると考えます。

色々思いのまま述べましたがこれらの事は、あらゆる分野の人々が本気で協力し合えば可能な事だと思えます。3.5%の国民が

動けば世の中は変わると言う人もいます。政治や経済等を政治家だけに任せても問題は解決しないと思えます。

本年も保険医協会を宜しくお願い致します。皆様のご健康とご活躍を祈願しております。

西播社保協で自治体と懇談

自治体との対話で社会保障の充実を

地域の医療・福祉改善のため、住民らでつくる西播社会保障推進協議会（西播社保協・会長高森信岳 姫路・西播支部副支部長）が毎年秋に行う自治体キャラバン（自治体訪問）が、今年度は11月8～24日に姫路・西播地域の全5市6町で行われ、住民らが自治体職員と懇談した。姫路市、佐用町、赤穂市と懇談した様子を紹介する。

自治体キャラバンは、県下の市町に社会保障改善を求める要望書を提出し、各自治体からの回答に基づいて、地元住民らが首長や職員と懇談を行うもの。今回はコロナ対策、国民健康保険、高齢者医療制度、介護保険の4点を中心に福祉の充実を求める強い思いを自治体職員に届けている。また、物価高騰対策として神戸・尼崎などでは「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」が進んでおり、姫路・西播地域でも対策拡大の声をあげた。

姫路市との懇談には社保協加盟団体から15人以上が参加。参加した姫路医療生協の担当者から「病院では低診療報酬による赤字で困っている」と市独自の支援を求めたが、市の担当者からは「赤字であることは認識している」としたものの具体的な対応策は出されなかった。タクシー利用補助の対象を現行の要介護2～5から要支援1以上に拡充するようにとの要求に対しては、「今のところは考えていない」との回答だった。社保協は「要介護になる前段



姫路市との懇談には15人以上が参加し
コロナ禍での医療機関経営対策など要望した

階こそ支援が必要なので、その保障を手厚くしてほしい」と改善を重ねて要請した。

最後にオンライン資格確認導入義務化や、保険証の廃止の問題では、国の方針に従うという市の姿勢に対して、「実現が難しい制度を無理矢理推し進める国には反対意見を出してほしい」などの声が上がった。

（次ページにつづく）

（前ページのつづき）

佐用町では町民ら5人の参加となった。小中学校の女子トイレへ生理用品を設置してほしいとの要望には、「現状は保健室対応でトイレへの設置は考えていない」「追加で教員へのアンケートを実施し、今のところ問題はないとの結論に至った」との回答だったが、町民からは「教員ではなく生徒へのアンケートを実施しないと本質はつかめない。困っていても言い出しづらく表面化しづらい問題だ。」などの意見がでた。

町内のがん患者たちが利用できる「がんサロン」については、利用者からサロンまでの距離が遠く改善してほしいとの要望が出されたが、担当者は「距離は遠く感じない」と問題視しなかったため、「実際の利用者が遠いと感じており担当者が判断するのは違うのではないか」などの意見も出た。

赤穂市との懇談には市民ら7人が参加した。相生市をはじめとした他市では補聴器購入の補助を実施していることから赤穂市でも実施を求めたところ「財政的に難しい。県で実施する補聴器活用調査の結果を注視したい」と回答。参加者からは「聴力低下は認知症との相関関係もあり、早めに対応することが重要だ。補助制度の創設を国に要請してほしい」と訴えた。

社保協側から介護職員の体制充実について質問をしたところ「介護職員の確保は第9期



赤穂市に対し、住民の生活を守る政策を求める西播社保協のメンバー

介護保険事業計画で検討するが、ヘルパー人材の不足は課題だ」と回答した。

また、赤穂市民病院のアレルギー科の診療を週1回から2回に増やすことや、こども医療費助成の所得制限は市民の中に分断を持ち込むため、すぐに撤廃することを求めた。

私立保育園の園長から、ゼロ歳児クラスは、年度初めは定員を割り、年度が進行するにつれて増える傾向があるが、保育士は定員に合わせて年度初めから確保する一方、補助金はその時点での子どもの人数に応じた金額となるため給料の支払いなど保育園の負担が大きいと、苦しい経営状況を訴えた。市の担当者は「状況は理解している」と回答。社保協からは補助金の拡充と併せ、保育士不足の改善も求めた。

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや、医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。

お問い合わせは Tel:078-393-1805

投稿は Fax:078-393-1802 または E-mail:o-sugimoto@doc-net.or.jp 担当：杉本まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 **(0120) 979-451**



★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/>
左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【2月のテーマ】

- 月曜日 小児のてんかん
- 火曜日 冷え性と漢方
- 水曜日 瘢痕の治療
- 木曜日 大腸憩室炎
- 金土日 大人のてんかん

※ 23日（木・祝）は水曜日のテーマを放送します。

【3月のテーマ】

- 月曜日 子どもの食物アレルギー
- 火曜日 なぜ歯医者は歯の清掃に定期的と呼ぶのか？
- 水曜日 肝硬変
- 木曜日 三叉神経痛
- 金土日 蕁麻疹

※ 21日（火・祝）は月曜日のテーマを放送します。

ラジオ関西番組「寺谷一紀のケンコー法師」

保険医協会枠「医療知ろう！」コーナーへの出演のお願い

協会では、2010年以來、毎年10月からの6カ月間、ラジオ関西の番組内にコーナー「医療知ろう！」を設け、会員・役員が出演し、市民に医療についての情報や社会保障を巡る問題点などを訴えてきました。つきましては、医療、その他の問題についてコーナーで取り上げるテーマと出演者を募集します。過去の放送も協会ホームページからご覧いただけます。

・収録日時（収録）月2回、木曜日19時～または20時～に収録となります。

詳しい日時は別途ご連絡します。電話収録も可能です。

・放送日時 毎週土曜日

番組＝20：00～21：00／コーナー＝20：05頃～

・収録場所 ラジオ関西内 スタジオ（〒650-8580 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル7F）

お申込み、お問い合わせは下記までお願いします。

兵庫県保険医協会 担当 小西

TEL 078-393-1807

FAX 078-393-1820

E-mail konishi-s@doc-net.or.jp

最近のご出演

・2022年3月24日
「食生活の改善で生活習慣病のリスクを減らそう！」
北村 アキ 先生（姫路市）

・2022年3月10日
「漢方と不眠症について」
西川 実徳 先生（姫路市）